

長期ビジョン

【はじめに】

これまで京都府では、概ね 10 年を計画期間とする「総合計画」を府政運営の基本として、京都府社会の基盤をつくり、それを活かしながら新しい京都づくりに取り組んできました。しかしながら、私たちの暮らしを取り巻く経済・社会は、激しい勢いで変化しており、こうした変化にも的確に対応しながら府政運営を行っていくことが必要となっています。

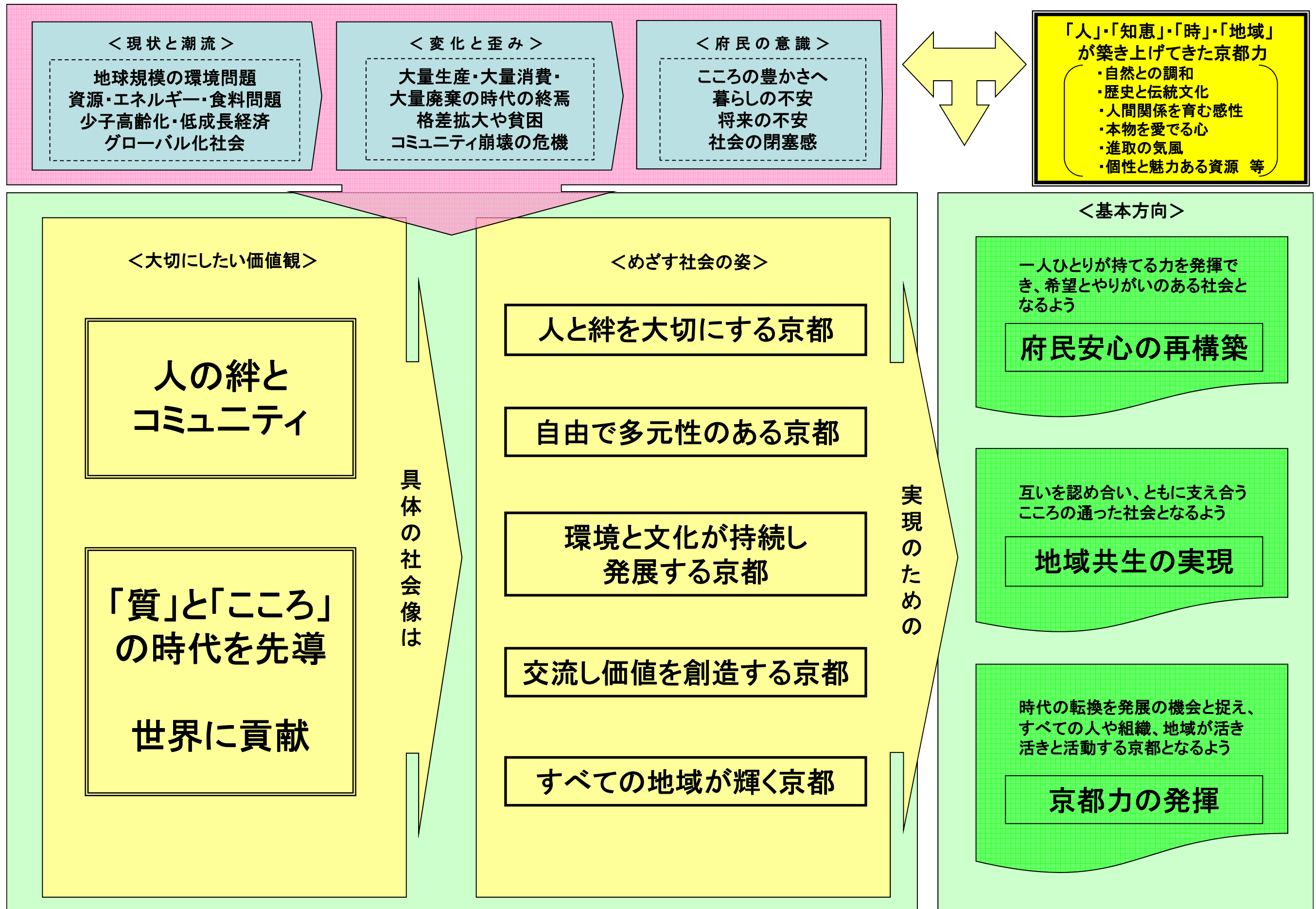
このため、京都府では、時代や情勢の変化に機動的に対応しつつ、体系的にしっかりと府政を進めていけるように、これまでのような 10 年一括の「長期」の「総合計画」に基づく府政運営から発想を転換することとしました。具体的には、普遍的な行政運営の基本理念や原則等を示す「基本条例」、めざす将来の京都府社会の姿を示す「長期ビジョン」、それに向かう 4～5 年間の戦略を示す「中期計画」、地域資源を活かして特色ある地域振興を進めるための「地域振興計画」の 4 つを策定し、これからの新しい京都づくりの指針としていくこととしました。

ここにお示しする「長期ビジョン」は、10 年（2020 年）～20 年後（2030 年）を展望しています。

ビジョンとは、将来の構想を表すもので、過去のトレンド等から計量的に将来予測を行うものとは異なります。そのため、この「長期ビジョン」では、大切に守っていくべき京都府社会の普遍的な価値観を意識しながら、一人ひとりの生き方や暮らし方に視点を置いて、将来こうありたいという社会の姿を描いています。

京都府では、今後、その時々々の京都府社会の姿（現状）をしっかりと見据えて、その上に立って、この「長期ビジョン」が、その時、その時代のめざす姿であるのか、ふさわしい方向であるのかを常に点検しながら、府民の皆様とともに、しあわせを実感できる希望の京都づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「長期ビジョン」のスケルトンと展開



「長期ビジョン」の概要

【10年ないし20年先を展望して、これからめざそうとする5つの京都府社会の姿】

（人と絆を大切にする京都）

人々が助け合い一体感のある社会が築かれ、そのもとで、だれもが豊かな人間性を育み、自立と自分の夢の実現に向かって力が開花する、しあわせを実感できる社会

（自由で多元性のある京都）

多様な組織・個人が対等の立場で水平的に結びつき、自らの目標に向かって自由闊達に活動し、社会に進歩と活力をもたらす新しい多元的な社会

（環境と文化が持続し発展する京都）

京都が世界に誇るかけがえない環境や文化が、府民一人ひとりの熱意と努力により大切に守られ、発展し、次の世代にしっかりと引き継がれる社会

（交流し価値を創造する京都）

環境と開発、経済と文化などの対極的な価値観が調和し、多様な人、世代、産業、地域の中に活発な交流と協働が生まれ、新しい価値が創り出される社会

（すべての地域が輝く京都）

すべての地域が、壮大で夢のある将来を展望しながら、個性と活力ある地域づくりが進められ、世界とつながり、未来に向かって光り輝く社会

【新たな京都づくりに向けた3つの基本方向】

府民安心の再構築

だれもが安心して暮らせる京都づくり

◇子育て・子育ての安心

（安心して子どもを産み、育てられる社会へ）

◇学びの安心

（生涯を通じて、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育機会が確保された社会へ）

◇働きの安心

（やりがいのもてる仕事への就業機会が確保された社会へ）

◇医療・福祉の安心

（健康で突然の病気やけがなどでも困窮することのない社会へ）

◇長寿の安心

（安心して年齢を重ね、長寿を謳歌できる社会へ）

◇暮らしの安心

（犯罪や事故の危険性が小さく、災害にも強い社会へ）

地域共生の実現

地域社会が信頼の絆で結ばれ、つながり、支え合う互助・互恵の京都づくり

◇人権尊重

（一人ひとりの尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる社会へ）

◇地域力再生

（地域の課題解決に向け、地域のみんなが連携・協働する社会へ）

◇新たなコミュニティづくり

（自由で開かれた新しいタイプのコミュニティのある社会へ）

◇男女共同参画

（男女が対等・平等な存在として自己実現できる社会へ）

◇ふるさと定住

（だれもが生まれ育った土地に住み続けられる魅力ある社会へ）

京都力の発揮

時代の変化の先頭に立ち、新しい「質」と「こころ」の時代の要請に応える生活、産業、地域の新たな成長と発展を実現する京都づくり

◇人づくり

（次代の京都を担う人や、世界を舞台に活躍する人づくりの京都へ）

◇環境の「みやこ」

（持続可能な人類社会のモデルとして世界の範となる環境を実現する京都へ）

◇文化創造

（豊かな伝統文化を継承し、新しい文化が次々と萌芽する卓越した文化力のある京都へ）

◇産業革新・中小企業育成

（京都経済を支える中小企業が安定した経営を行う中で、未来を切り拓く産業のイノベーションが進展する京都へ）

◇交流連帯

（府域の内外を快適に移動したり、情報をやりとりでき、世界中から人々が集い交わる京都へ）

◇希望に輝く地域づくり

（それぞれの地域が「みやこ」となるよう夢のある地域構想が展開する京都へ）